

白島石油備蓄株式会社

I 法人の概要（令和4年4月1日現在）

- 所在地 東京都千代田区神田錦町二丁目9番地
- 設立年月日 昭和56年6月8日
- 代表者 代表取締役社長 成田 克史
- 資本金 100,000千円
- 北九州市の出資金 5,000千円（出資の割合 5.0%）
- 役員員数

	人 数			
	合 計	うち本市からの派遣	うち本市退職者	うちその他
役員	6人	0人	0人	6人
常勤	5人	0人	0人	5人
非常勤	1人	0人	0人	1人
職員	83人	0人	0人	83人

II 令和3年度事業実績

令和3年度における我が国経済は、持ち直しの動きが続いていたものの、新型コロナウイルスの変異株による感染再拡大があり、緊急事態宣言や、まん延防止等重点措置が継続的に発出され厳しい状況が残った。

このような中、白島石油備蓄(株)は、(独)石油天然ガス・金属鉱物資源機構（以下「機構」という。）との平成30年度から令和4年度までの5ヵ年に亘る白島国家石油備蓄基地操業に係る業務委託契約（以下「業務委託契約（平成30年度～令和4年度）」という。）の4年度目にあたり、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に努めつつ、大型工事である貯蔵船白島五号泊地内検査工事を完遂し、その他、契約に定める業務を着実に遂行した。

業績については、当期は機構から2,223百万円の収入を得て、50百万円の当期純利益となった。

Ⅲ 令和3年度決算

1 貸借対照表(総括表)

令和4年3月31日現在(単位:千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	4,234,505	流動負債	2,988,837
現金及び預金	1,385,211	未払費用	2,848,260
営業未収金	2,326,078	未払法人税等	25,746
前払費用	10,899	未払事業所税	8,513
未収消費税等	512,098	預り金	4,049
その他	218	賞与引当金	102,268
固定資産	71,666	固定負債	459,765
有形固定資産	11,847	退職給付引当金	421,770
建物	10,096	役員退職慰労引当金	37,995
工具器具備品	1,751	負債合計	3,448,602
無形固定資産	548	(純資産の部)	
電話加入権	84	株主資本	857,569
ソフトウェア	464	資本金	100,000
投資その他の資産	59,269	利益剰余金	757,569
長期差入保証金	14,354	利益準備金	25,000
繰延税金資産	44,915	その他利益剰余金	732,569
		別途積立金	90,000
		繰越利益剰余金	642,569
		純資産合計	857,569
資産合計	4,306,171	負債及び純資産合計	4,306,171

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨て

2 損益計算書

自 令和 3年4月1日

至 令和 4年3月31日(単位:千円)

科 目	金 額	
売上高		2,223,720
売上原価		1,795,102
売上総利益		428,617
販売費及び一般管理費		338,087
営業利益		90,529
営業外収益		
受取利息	0	
雑収入	3,274	3,274
経常利益		93,804
税引前当期純利益		93,804
法人税、住民税及び事業税	51,449	
法人税等調整額	△7,993	43,456
当期純利益		50,348

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨て

Ⅳ 令和4年度事業計画

来期は、機構との業務委託契約（平成30年度～令和4年度）の5年度目（最終年度）にあたる。新型コロナウイルス感染予防策の徹底を図りつつ、機構との業務委託契約（平成30年度～令和4年度）に定める業務ならびに入札に際し機構に提出した企画書に則り、個々の改善提案を着実に遂行する。緊急時における国家石油備蓄の重要性も益々高まっており、円滑な放出が可能となるよう万全を期して事業を継続する。

また、機構との次期業務委託契約（令和5年度～令和9年度）を確実に更新すべく、当該期間における技術提案・操業計画の充実を図るとともに、令和4年度会社目標である「基地の安全と安定操業の完遂」、「改善活動の徹底」、「社員の健康とモチベーションの向上及び人材育成」の達成により、引き続き基地の安全・安定操業に努めていく。

Ⅴ 役員名簿

令和4年7月1日現在

役職名	氏名	備考
代表取締役社長	成田 克史	
専務取締役	黒岩 理	
取締役	坂井 俊哉	
//	平塚 隆明	
//	三浦 隆	
監査役	細谷 正則	コスモ石油株式会社